

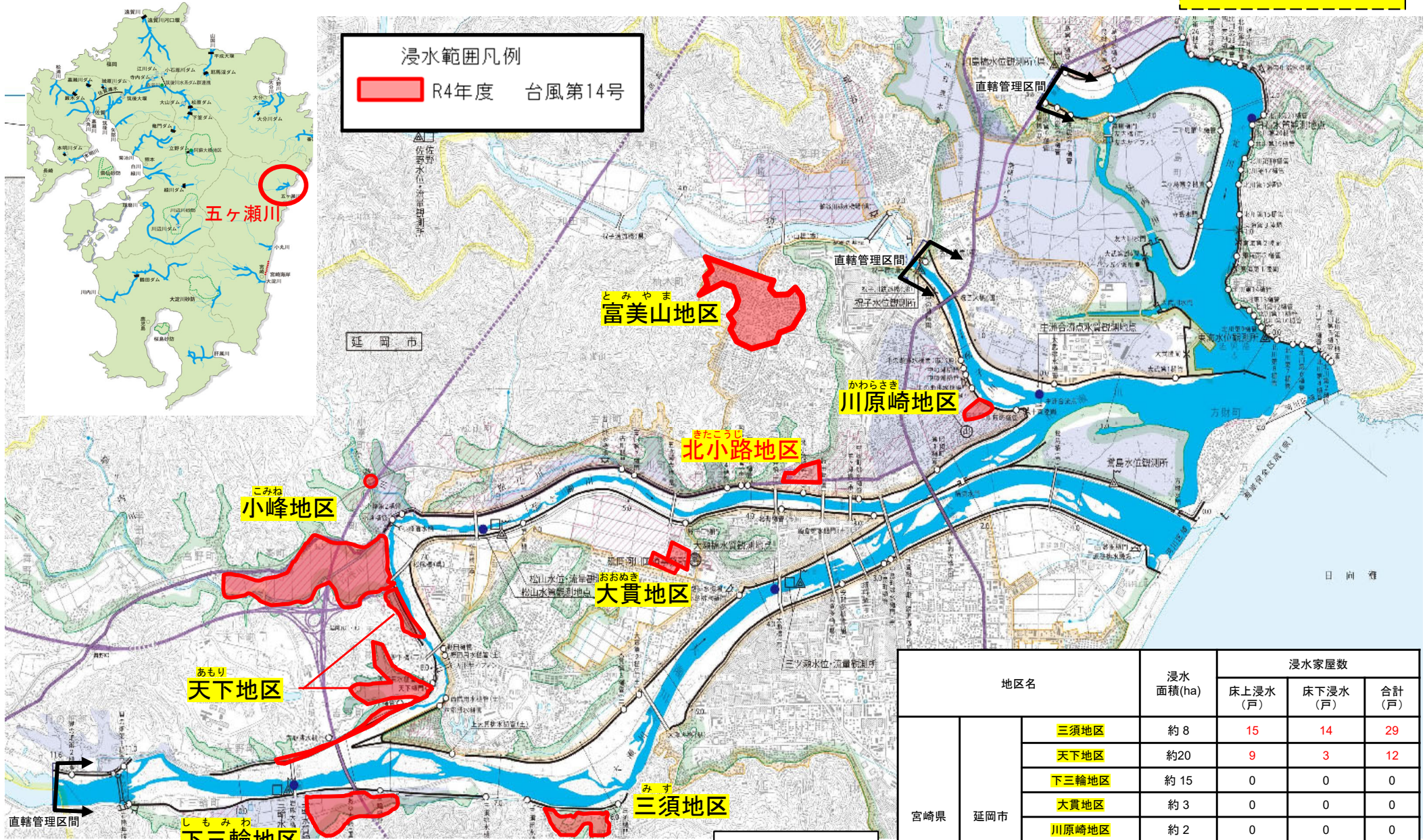
# 令和4年台風第14号に伴う大雨について【速報版】 (第4報)

五ヶ瀬川水系、小丸川水系、大淀川水系、球磨川水系、大分川水系、  
番匠川水系、大野川水系、山国川水系、肝属川水系、遠賀川水系、川内川水系

※更新したページのみ更新した箇所が分かる状態で抜粋しています。

九州地方整備局  
令和4年12月2日

# 16. 一般被害の情報【五ヶ瀬川水系】



R4年12月1日時点

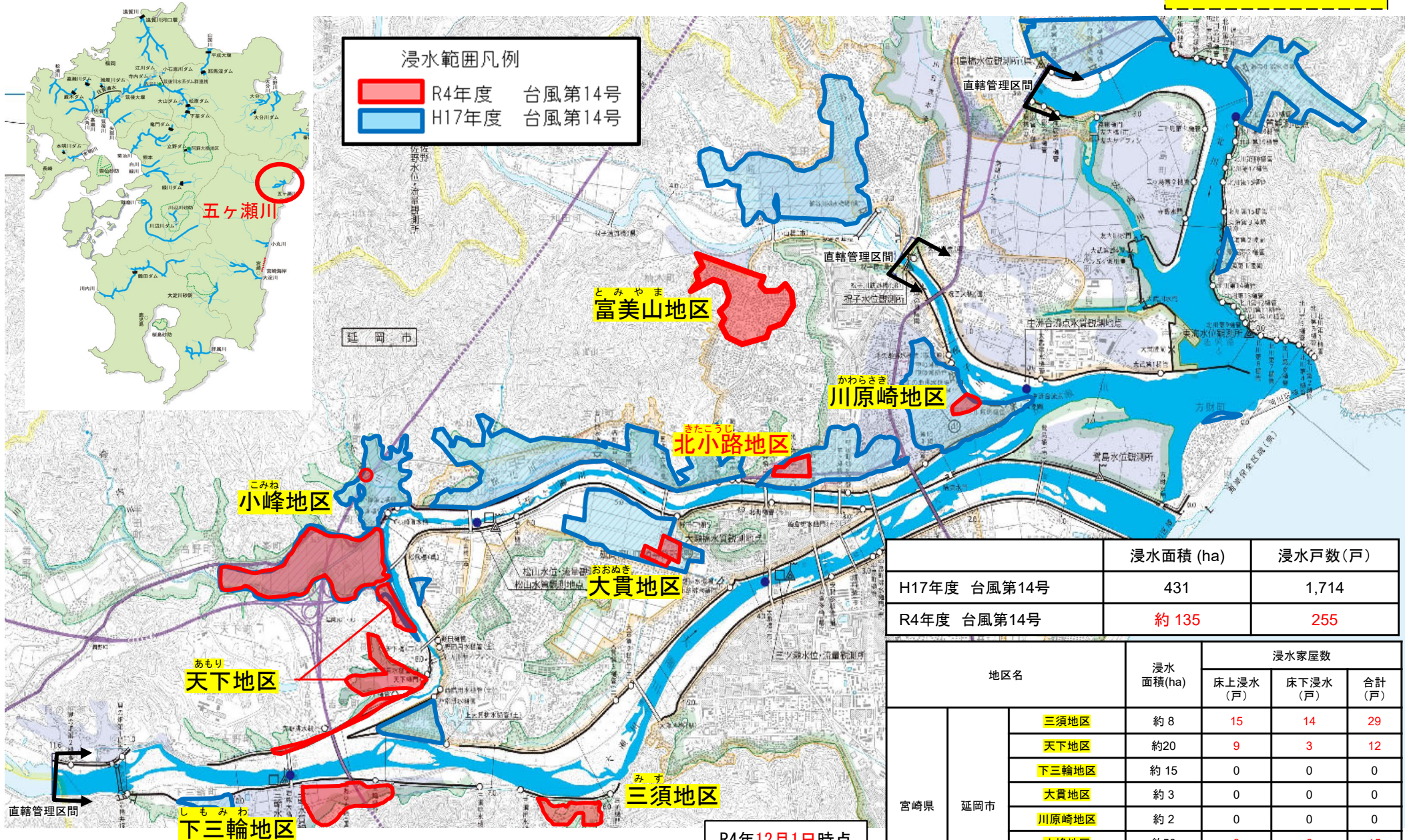
- ・ 浸水家屋数を12/1時点で更新。(右表赤字)
- ・ 北小路地区の被害情報を新たに追加。(右表赤字、上図浸水範囲)

地区名	浸水面積 (ha)	浸水家屋数			
		床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	合計 (戸)	
宮崎県 延岡市	三須地区	約 8	15	14	29
	天下地区	約 20	9	3	12
	下三輪地区	約 15	0	0	0
	大貫地区	約 3	0	0	0
	川原崎地区	約 2	0	0	0
	小峰地区	約 50	9	6	15
	富美山地区	約 30	110	80	190
北小路地区	約 7	5	4	9	
計	約 135	148	107	255	

※浸水面積及び浸水戸数は、国土交通省が確認把握した速報値であり、今後、関係機関の調査結果に基づき変わる可能性があります。 110

# 16. H17年度台風第14号との比較【五ヶ瀬川水系】

第3報から更新



・ 浸水家屋数を12/1時点で更新。(右表赤字)  
・ 北小路地区の被害情報を新たに追加。(右表赤字、上図浸水範囲)

		浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)		
H17年度 台風第14号		431	1,714		
R4年度 台風第14号		約 135	255		

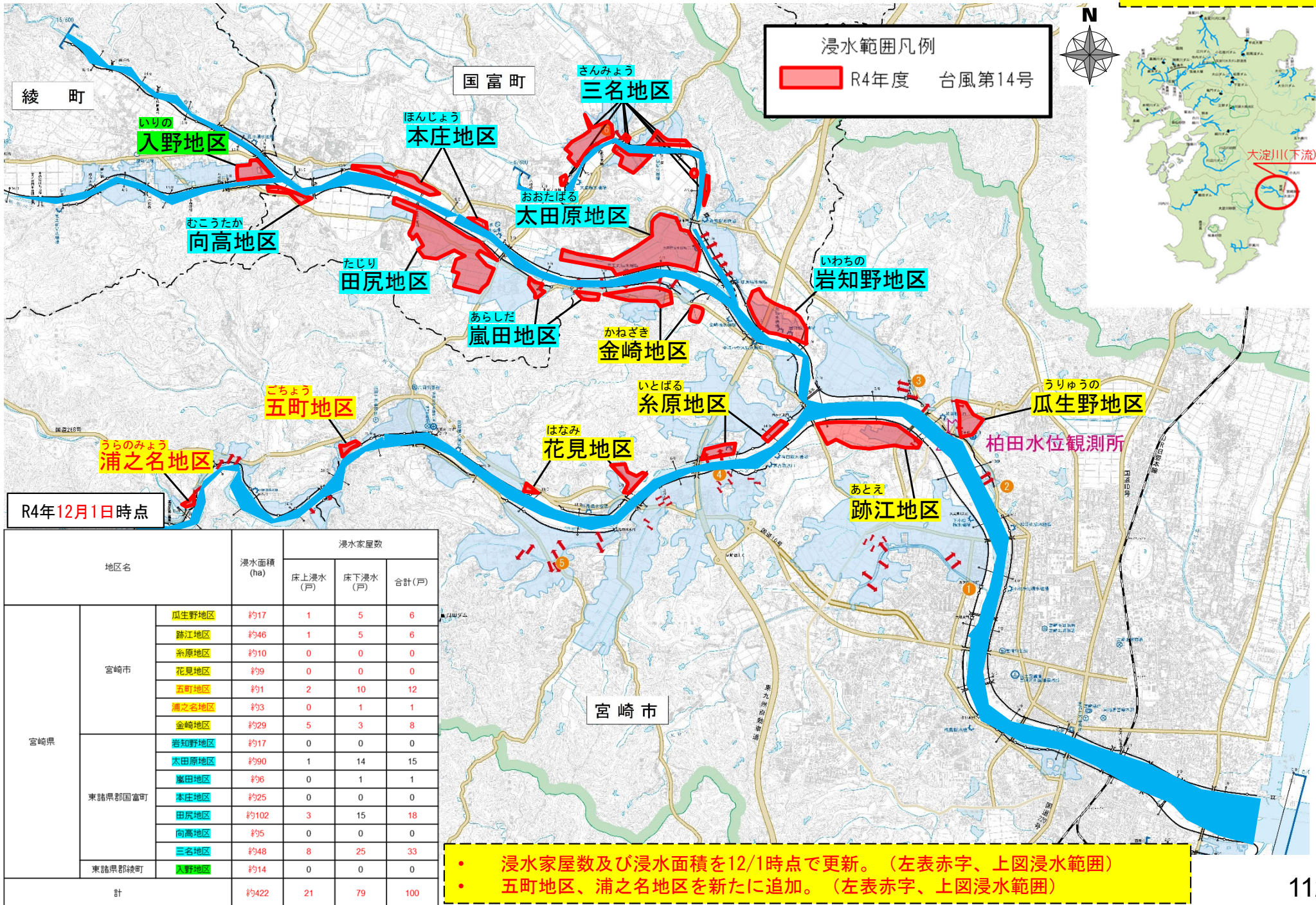
  

地区名	浸水面積 (ha)	浸水家屋数			
		床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	合計 (戸)	
宮崎県 延岡市	三須地区	約 8	15	14	29
	天下地区	約 20	9	3	12
	下三輪地区	約 15	0	0	0
	大貫地区	約 3	0	0	0
	川原崎地区	約 2	0	0	0
	小峰地区	約 50	9	6	15
	富美山地区	約 30	110	80	190
北小路地区	約 7	5	4	9	
計	約 135	148	107	255	

※浸水面積及び浸水戸数は、国土交通省が確認把握した速報値であり、今後、関係機関の調査結果に基づき変わる可能性があります。 111

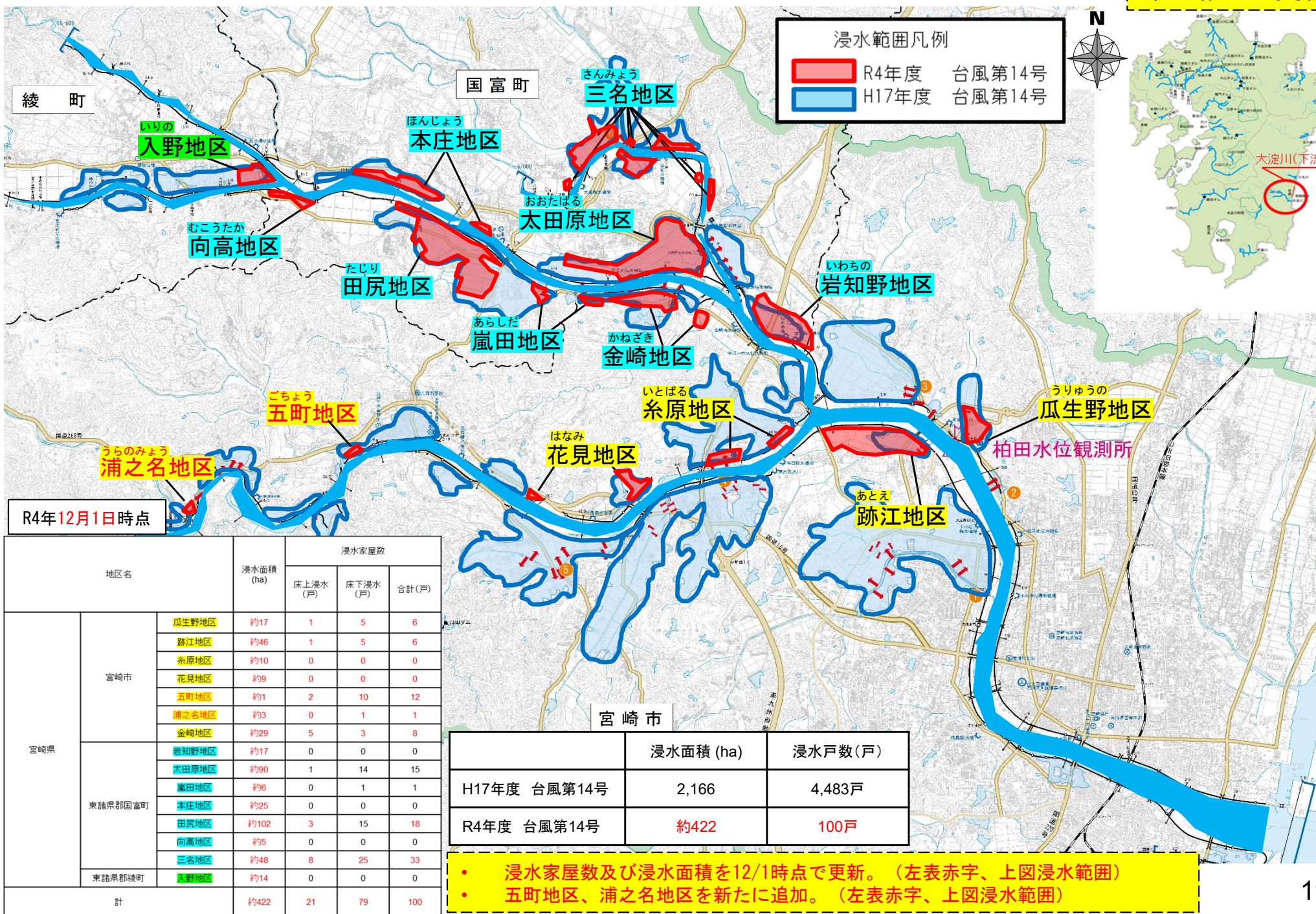
# 16. 一般被害の情報【大淀川水系（下流）】

第3報から更新



※浸水面積は国土交通省、浸水戸数は国土交通省、国富町、綾町が確認把握した速報値であり、今後、関係機関の調査結果に基づき変わる可能性があります。

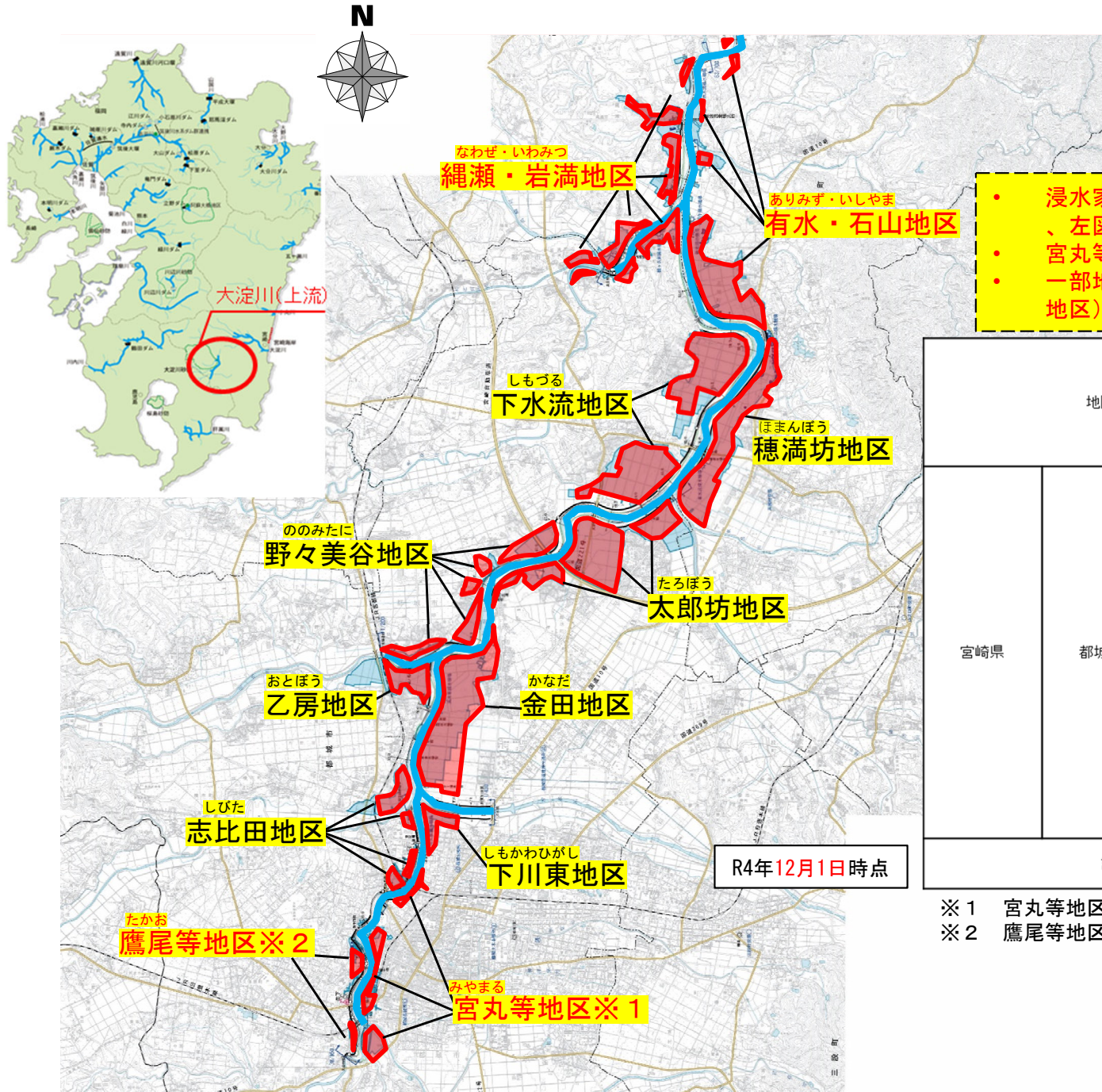
# 16. H17年度台風第14号との比較【大淀川水系（下流）】



※浸水面積は国土交通省、浸水戸数は国土交通省、国富町、綾町が確認把握した速報値であり、今後、関係機関の調査結果に基づき変わる可能性があります。

# 16. 一般被害の情報【大淀川水系（上流）】

第3報から更新



浸水範囲凡例  
 R4年度 台風第14号

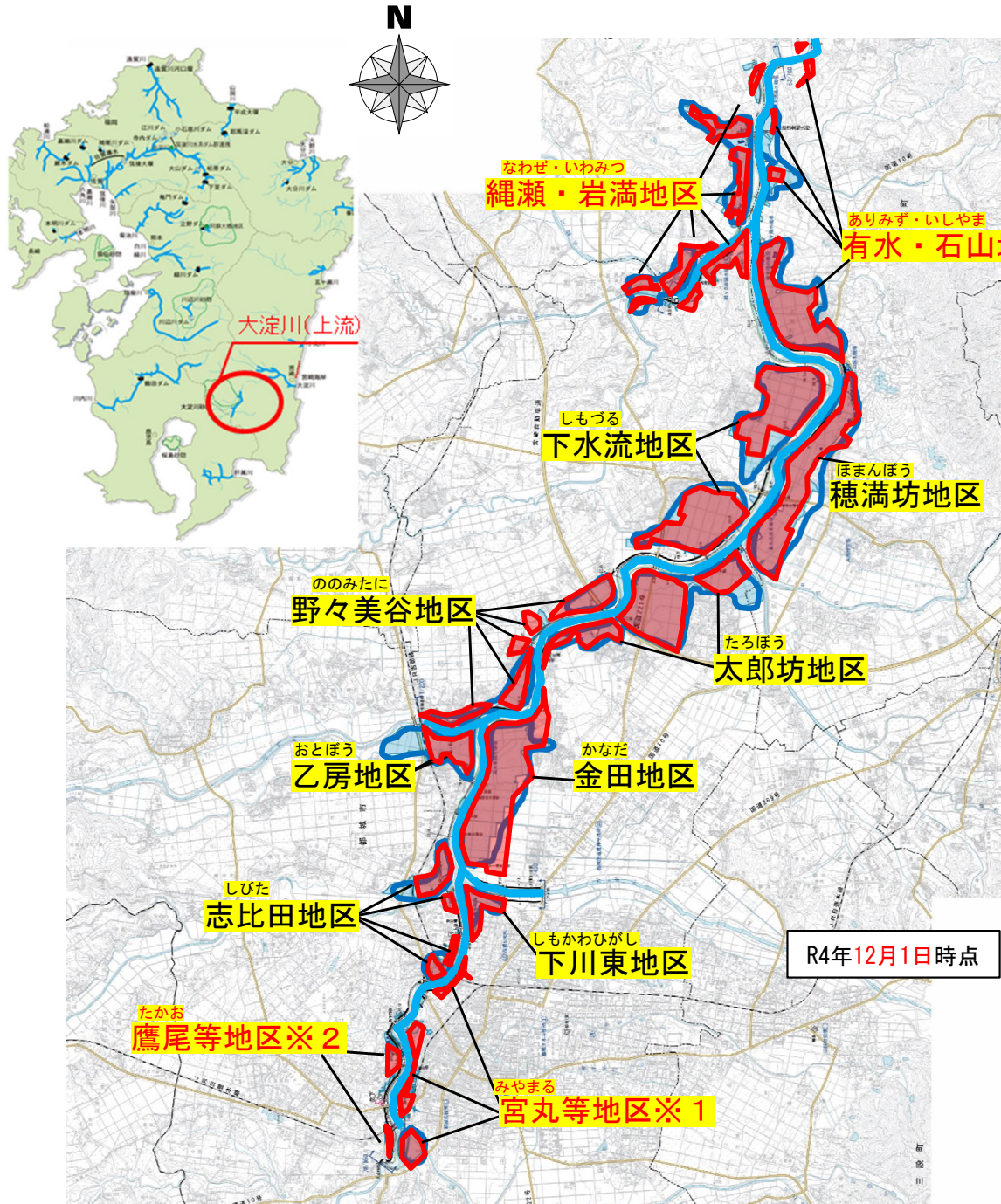
- ・ 浸水家屋数及び浸水面積を12/1時点で更新。（下表赤字、左図浸水面積）
- ・ 宮丸等地区を新たに追加。（下表赤字、左図浸水範囲）
- ・ 一部地区名（縄瀬・岩満地区、有水・石山地区、鷹尾等地区）を変更。（下表赤字、左図）

地区名		浸水面積 (ha)	浸水家屋数			
			床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	合計 (戸)	
宮崎県	都城市	縄瀬・岩満地区	約88	3	2	5
		有水・石山地区	約101	24	3	27
		下水流地区	約186	0	0	0
		穂満坊地区	約138	1	0	1
		太郎坊地区	約138	0	0	0
		野々美谷地区	約42	0	0	0
		金田地区	約173	12	4	16
		乙房地区	約36	0	0	0
		志比田地区	約34	1	0	1
		下川東地区	約23	105	3	108
		宮丸等地区※1	約42	28	10	38
		鷹尾等地区※2	約14	8	0	8
計		約1,015	182	22	204	

※1 宮丸等地区とは：西町、宮丸町、大王町、平江町。  
 ※2 鷹尾等地区とは：都島町、鷹尾1丁目。

# 16. H17年度台風第14号との比較【大淀川水系（上流）】

第3報から更新



浸水範囲凡例

- R4年度 台風第14号
- H17年度 台風第14号

- ・ 浸水家屋数及び浸水面積を12/1時点で更新。（下表赤字、左図浸水面積）
- ・ 宮丸等地区を新たに追加。（下表赤字、左図浸水範囲）
- ・ 一部地区名（縄瀬・岩満地区、有水・石山地区、鷹尾等地区）を変更。（下表赤字、左図）

地区名	浸水面積 (ha)	浸水家屋数			
		床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	合計 (戸)	
宮崎県 都城市	縄瀬・岩満地区	約88	3	2	5
	有水・石山地区	約101	24	3	27
	下水流地区	約186	0	0	0
	穂満坊地区	約138	1	0	1
	太郎坊地区	約138	0	0	0
	野々美谷地区	約42	0	0	0
	金田地区	約173	12	4	16
	乙房地区	約36	0	0	0
	志比田地区	約34	1	0	1
	下川東地区	約23	105	3	108
	宮丸等地区※1	約42	28	10	38
	鷹尾等地区※2	約14	8	0	8
計	約1,015	182	22	204	

※1 宮丸等地区とは：西町、宮丸町、大王町、平江町。  
 ※2 鷹尾等地区とは：都島町、鷹尾1丁目。

	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)
H17年度 台風第14号	1,155	223戸
R4年度 台風第14号	約1,015	204戸

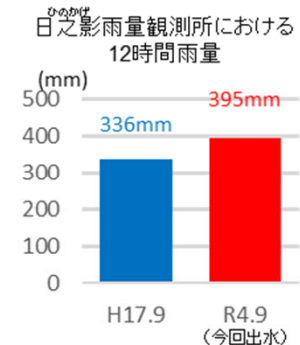
※浸水面積は国土交通省、浸水戸数は都城市が確認把握した速報値であり、今後、関係機関の調査結果に基づき変わる可能性があります。

# 17. 治水事業の効果（五ヶ瀬川水系 河川改修）

速報値  
令和4年12月

第3報から更新

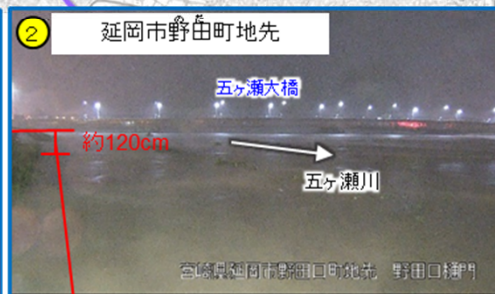
- 令和4年9月の台風14号による豪雨は、平成17年台風14号で記録した観測史上最高の雨量、水位と同規模。
- 平成17年以降、国土強靱化予算等により、河道掘削、堤防整備等を進めてきたことに加え、ダムでの貯留量を確保するための事前放流も実施し、五ヶ瀬川、大瀬川の氾濫を回避し、延岡市の中心市街地を含む地域の浸水を防止。



凡例  
 【浸水範囲】  
 〇 : H17浸水範囲  
 〇 : R4 浸水範囲(内水)  
 【事業内容】  
 〇 : 河道掘削  
 〇 : 堤防整備



堤防天端まで約50cmの水位を記録



堤防天端まで約120cmの水位を記録

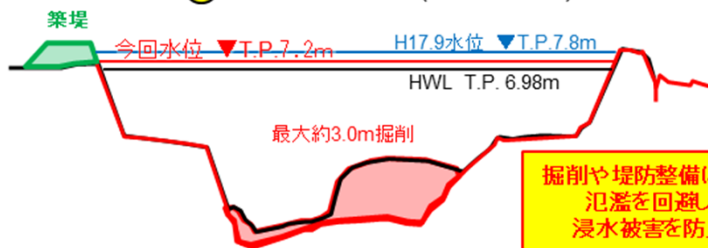
## 事業効果

平成17年以降の主な治水対策

河道掘削	約177万㎡ (ダンプ35万4千台相当)
堤防整備	1,900m

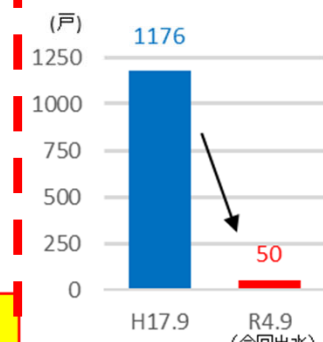
※令和3年度末までの対策内容

③ 延岡市古川町地先 (五ヶ瀬川 5.0k)



掘削や堤防整備により  
氾濫を回避し  
浸水被害を防止

## 浸水戸数



※国管理区間沿線の浸水戸数を積み上げ

更新



# 17. 治水事業の効果（大淀川水系（下流域） 河川改修）

速報値  
令和4年12月

第3報から更新

○令和4年9月台風14号では、大淀川において甚大な家屋浸水被害(4,483戸)が発生したH17出水に迫る雨量を記録。

○平成17年以降、国土強靱化予算等により、河道掘削・堤防整備等を進めてきたことに加え、ダムでの貯留量を確保するための事前放流も実施し、大淀川の氾濫を回避し、浸水家屋も100戸と大幅に軽減。

